

**製品名: UCP1+UCP3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84028**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 33,34 kDa ; Observed MW: 34 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	UCP1+UCP3
別名	UCP1; UCP3;;UCP1/3
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P12242/P56501(mouse)(human:P25874/P55916)
免疫原	マウス UCP1/3 由来の合成ペプチド

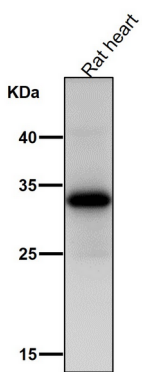
**背景**

ミトコンドリアトランスポーターは、長鎖脂肪酸（LCFA）とプロトンの共輸送体として機能し、ミトコンドリア内膜を介して LCFA

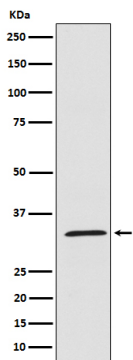
とプロトンを同時に輸送します。しかし、LCFAは疎水性末端を介してトランスポーターと結合したままであるため、LCFAによって活性化されたプロトンを輸送しているように見えます。これにより、ミトコンドリアのプロトン勾配が消散し、基質の酸化エネルギーがATPではなく熱に変換されます。

## 研究分野

## 画像データ



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



マウス骨格筋細胞溶解物における UCP1 + UCP3 発現のウェスタンブロット分析。